

総合的な学習の時間 学習指導案（国際理解）

日 時 令和4年11月15日（火）

場 所 帯広市立稲田小学校

生 徒 6年2組 35名

指導者 教諭 慶 長 宏 之

1 単元名 SDGsについて考える【国際理解、国際親善（C 主として集団や社会との関わりに関すること）】

2 単元について

貧困、紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など、人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面している。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言われている。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てた。それが「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」である。

SDGsは、「持続可能な世界」を実現するための、いわばナビのようなものである。人類はいま、そのナビが示す方向に進めているだろうか。そして、様々な社会の課題とSDGsとのつながりを知り、「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいのか。また、将来自分はどうのように目標達成に貢献できるだろうか。」それを考えることが、2030年の世界で主役となって活躍していく子ども達たちに求められている。この単元では、国際情勢を理解してSDGsに対する取り組みを自分ごととして捉えることがねらいである。

3 国際理解BASIC

- BASIC-1（地理的項目—知識・理解）
他国の文化や現状を知る。
- BASIC-2（文化・言語的項目—体験・経験）
他国と日本の文化や現状を比較し考える。
- BASIC-3（情報発信・行動的項目—表現・意識）
他国や自国の文化や現状について交流する活動を通して、国際貢献の在り方について考える。

4 単元の目標

- 自国の文化や現状と比べながら、SDGsについての理解を深め、世界の課題を自分ごととらえ国際貢献の在り方について考える態度を育てる。

5 国際理解の目標

- 他国の文化や現状を知る。【世界に触れる（intake活動）】
- 他国と日本の文化や現状を比較し、共通点や相違点などを考えることで世界の課題について、グループで話し合う。【世界を考える（intake活動）対話・ディスカッション（output活動）】
- 持続可能な開発目標について「自分ごと」としてとらえ、解決のために「何ができるか」を考え、国際貢献の在り方について理解を深める。【創造力・行動化（outcome活動）】

6 指導計画

学習段階	授業の展開	評価の手立て (○) と 観点 (◎)
第1次 (1時間)	学習の見通しをもつ。 SDGsについて知る。	○ワークシートなどの記述 ◎SDGsに興味・関心をもつことができる。【学】
第2次 (1時間)	JICA講師からSDGsについて学ぶ。	○ワークシートなどの記述 ◎SDGsについて知ることができる。【知】
第3次 (1時間)	ドバイの現状を知り、日本との共通点や相違点について知る。自分が着目した項目に分かれてグループを作る。	○グループでの話し合いの様子とワークシートなどの記述 ◎国際情勢から気になるSDGsの項目に着目することができる。【思】
第4次 (本時) (1時間)	ドバイ日本人学校の教員との対話を通して、日本とドバイの共通点、相違点を整理し、世界の課題についてグループで話し合い、解決すべき開発目標を選択する。	○グループでの話し合いの様子とワークシートなどの記述 ◎世界の課題についてグループで話し合い、解決すべき開発目標を考えることができる。【思】
第5次 (1時間)	持続可能な開発目標について、自分に「何ができるか」の具体的な行為を選択し、どのような行動をすべきかを決定し、調べる。	○ワークシートなどの記述 ◎自分で「どんなことができるか」について調べることができる。【思】
第6次 (1時間)	調べたものを交流する。	○発表している様子 ◎自分で調べてまとめたものを友達に伝え、他者の考えを受け入れることができる。【学】

7 本時の目標

- 派遣教諭との対話や日本とUAEの持続可能な開発目標 (SDGs) の達成及び課題等に係る比較を踏まえ、「自分に何ができるか」という視点で、SDGsの目標を決定する。

8 本時の展開

主な学習活動	□評価の手立て◆留意点
<p>第1ステップ【intake 活動】 前時でのドバイと日本の共通点、相違点について振り返るとともに、ほかの国の小学生について、どんな学校生活を送っているのか想像する。</p> <p>・世界の共通課題について考える。</p> <p>○本時の課題を把握する。</p>	<p>◆前時を想起して、課題意識を高める。</p>
<p>私たちがつくる持続可能な世界について考えよう。</p>	
<p>第2ステップ【intake 活動・output 活動】 ドバイ日本人学校の派遣教諭とつなぎ、ドバイの様子や国の課題について、自国との相違点・共通点を交流する。</p>	<p>◆派遣教諭との対話を通じて、自国の課題と世界の課題の相違点・共通点の理解を深める。</p>
<p>第3ステップ【intake 活動・output 活動】 解決すべき目標を話し合い、選択した理由をグループで考え、決定する。</p> <p>※グループは3つに分かれる予定 ※数は持続可能な開発目標の番号を表している。 ①人間らしく生きる（1～6、10、16） ②地球環境を守る（13～15） ③経済の安定と成長（7～9、11、12）</p> <p>解決すべき開発目標を決定しよう。</p> <p>○ 解決すべき目標を話し合う。 ○ 選択した理由等を派遣教諭に説明する。</p> <p>○ 次回の授業に向け、「何ができるか」という視点で、具体的行為の個人思考を行うことを伝える。</p>	<p>◆SDGsについての理解を深め、解決すべき目標を決定する。</p> <p>□グループでの話し合いの様子</p>

※ 日本とUAEの持続可能な開発目標（SDGs）の達成及び課題等に係る比較（補足資料）

	達成している		課題が残っている		重要な課題が残されている		大きな課題となっている
---	--------	---	----------	---	--------------	---	-------------

持続可能な開発目標（SDGs）	日本（19位／163か国）	UAE（85位／163か国）
1 貧困なし		
2 飢餓ゼロ		
3 健康と幸福		
4 質の高い教育		
5 男女平等		
6 清潔な水と衛生		
7 手頃な価格でクリーンなエネルギー		
8 ディカント・ワークと経済成長		
9 産業、イノベーション、インフラ		
10 不平等の減少		
11 持続可能な都市とコミュニティ		
12 責任ある消費と生産		
13 気候変動対策		
14 水の下での生活		
15 陸上での生活		
16 平和、正義、強力な制度		
17 目標達成のためのパートナーシップ		